

事業実施報告

開催日	令和6年7月27日（土）～30日（火）		
事業名	テンパーク・サマーチャレンジ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	14人
対象	小学校5・6年生の児童		
関係機関名	一般社団法人岩手県山岳・スポーツライミング協会、一般社団法人八幡平市観光協会		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

〔事業の内容〕

3泊4日の日程で、1日目はアイスブレイク、郷土料理（ひつつみ汁）の野外炊飯等を行った。2日目以降は天候不順のため当初予定を変更し、雨天順延プログラムで実施した。

- ・ 2日目の変更：焼走り熔岩流のトレッキングを網張ビジターセンターの見学へ変更
- ・ 3日目の変更：岩手山登山を屋内での大運動会、野外炊飯、野外オリエンテーリングへ変更
- ・ 4日目の変更：お別れ会と閉会行事を岩手山登山へ変更

〔成果〕

(1) 事業後のアンケート結果

- ・ 「この後の生活でもいろいろなことに挑戦してみたいという気持ちが高まったか。」という問いに対し、「強くなった」、「少し強くなった」と回答した割合が92.8%だった。
- ・ 事業全体に満足度について、参加者の92.8%が「満足」と回答した。
- ・ 事後アンケートで「いろいろなことに挑戦できた」や「協力してチャレンジできた」、「みんなの意見を聞くことも大事だと思った」などの回答があり、事業全体を通しての目標を参加者全員で考えさせたことや登山のグループ編成を自分たちで決めさせたことで、自らの行動の適切な振り返りや主体的な活動を引き出すことができた。また、様々な協力する活動を通して参加者同士の仲を深め、絆を強めることができた。

(2) 事業運営について

- ・ 登山指導員や職員、ボランティアの人員配置や途中下山を含む様々な事態への対応など、安全管理体制の基本型を構築することができた。
- ・ 荒天等による登山延期に対応する雨天プログラムを整えることができた。

〔課題〕

(1) 活動日程について

- ・ 事後アンケートで「内容はとてもよかったが、もう少し時間に余裕をもってほしい」との回答があり、雨天プログラムについて時間の見通しが不十分だった。時間設定や配分について改善が必要である。

(2) 登山の安全管理について

- ・ 学生ボランティアに登山初心者がいた。登山時のボランティアの募集・選考について配慮が必要である。

状況写真



「アドベンチャー・プログラム」



「郷土料理『ひつつみ』づくり」



「網張ビジターセンターで岩手山の学習」



「雨天プログラム『大運動会』」



「雨天プログラム『オリエンテーリング』」



「岩手山登山 大成功！」